

女性活躍推進委員会、女性活躍推進専任者の設置

- ・女性活躍推進の効果を一段と発揮するため、全国を10ブロックに分け、**委員会**を設置しています。
(委員会設置支店：札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、高松、福岡)
- ・**女性活躍推進専任者**が支店間の連携支援、外部連携先の開拓・関係深耕を行い、活動をサポート。公庫全体と地域の女性活躍推進に努めています。

金融ウーマン情報交換会

中国：鳥取支店

地元金融機関と金融ウーマン情報交換会を開催。



取引先と連携し

地域の食材の振興を支援！

北海道：北見支店

地元特産品の消費促進による地域への貢献を図るためオリジナルレシピを開発。



地域金融機関とCS向上に向けた情報交換会、店舗見学を実施

近畿：奈良支店

協調商品「WiLL plus」を創設

東北：山形支店

県及び労働局と連携した地域金融機関との協調商品「女性活躍企業応援融資—WiLL plus—」を創設。



県内金融機関4社による「働き方改革・女性活躍のための意見交換会」を開催

北関東：宇都宮支店

地域経済の活性化及び地域社会の発展への寄与を目的に地元大学と業務協力に関する協定を締結

南関東：横浜支店



介護へ理解を深める

東京：東京支店

職員向けに介護セミナーを実施。仕事と介護の両立について考える機会を積極的に提供。

女性の視点を生かした

防災対策活動を開催

取引先や地域金融機関、防災士と意見交換を実施し、防災に対する意識を啓蒙

四国：高知支店

地元企業5社と「イクボス同盟」を結成

全管理職が「イクボス宣言」を実施

九州：宮崎支店



日本公庫は「イクボス企業同盟」（設立：特定非営利法人ファザーリング・ジャパン）に参画しています。



地元金融機関の女性管理職と意見交換

東海・北陸：名古屋支店

地元金融機関と公庫の女性管理職をパネリストとして、女性の働き方をテーマに意見交換会を開催。

女性起業家を応援しています！



- ◆創業検討期～創業後まで、ステージ別のセミナーや交流会、相談会等を全国で開催
- ◆女性や若者を対象とした相談会やイベントを全国で開催
- ◆女性創業事例集の作成
- ◆各地域で創業支援機関と女性に特化した創業支援ネットワークを構築
(例) 富山・高岡支店／富山し・ご・と・もサポートネット
経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」との連携
- ◆地域の金融機関と女性活躍応援融資スキームを構築
(例) LadyGo! (東京都市銀行 (現.きらぼし銀行))、ときめきみらい (大光銀行)、ウィング1 (第四銀行)、イロハモミジ (もみじ銀行)

JFC 日本政策金融公庫

<https://www.jfc.go.jp/>

平成30年9月発行

株式会社 日本政策金融公庫 女性活躍・職場環境向上推進室



認定番号K0301090
この印刷物に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

会社概要

名称 株式会社日本政策金融公庫
(略称:「日本公庫」)

設立年月日 平成20年10月1日*

本店 東京都千代田区大手町1-9-4
大手町フィナンシャルシティ
ノースタワー

業務 政府系金融機関
(国民一般向け業務・農林水産業者向け
業務・中小企業者向け業務・危機対応等
円滑化業務)

職員数 7,364人(平成30年度予算定員)

職種別 総合職 約6,000人
(うち女性約11%)
エリア職 約1,100人

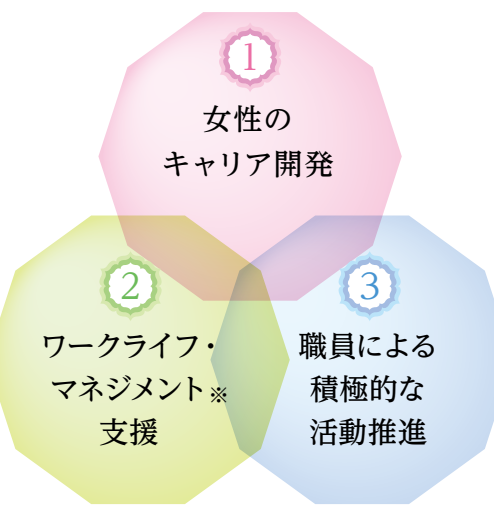
性別 男性 約5,500人(75%)
女性 約1,800人(25%)

資本金等 資本金 4兆1,249億円
資本準備金 1兆8,879億円

支店等 国内152支店・海外駐在員事務所2カ所
(平成30年3月31日現在)

*国民生活金融公庫・農林漁業金融公庫・中小企業金融公庫
が統合し、株式会社日本政策金融公庫が発足しました。

柔軟で強靱な組織
へ向けて

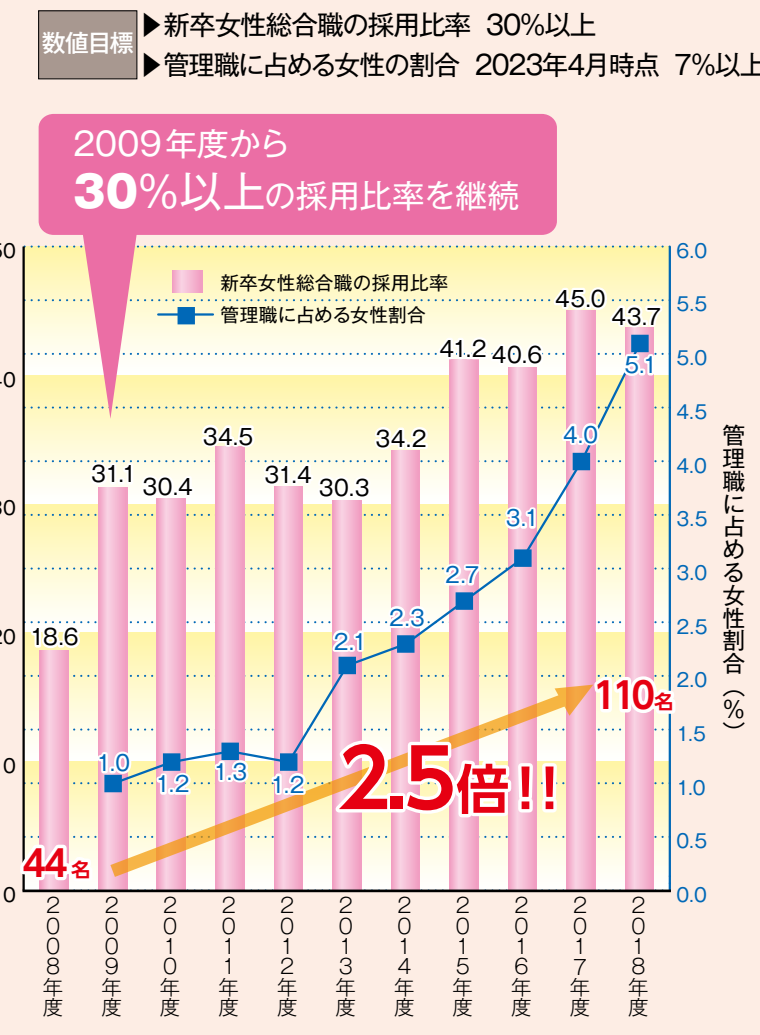


以上の3つの取組みを柱に、職員が能力を
最大限に発揮して活躍できる職場づくりを
推進しています。

※ワークライフ・マネジメント：仕事と生活における役割責任を
果たしながら、双方の充実を目指して、自身の意志で自分の働
き方や生き方を積極的にマネジメントすること。

1 女性のキャリア開発

1 数値目標の設定



2 育成体制の整備

①女性管理職候補者育成プログラム
「プロジェクト Challenge!!」

数値目標 ▶ 管理職者に占める女性の割合 7%以上
(2023年4月時点)

- ・上記数値目標の達成に向け、OJTや集合研修により女性職員を育成するプログラム
- ・平成23年度から継続してプログラムを実施
- ・「リーダーシップの養成」「コミュニケーション能力の習得」「戦略的思考の強化」等に注力

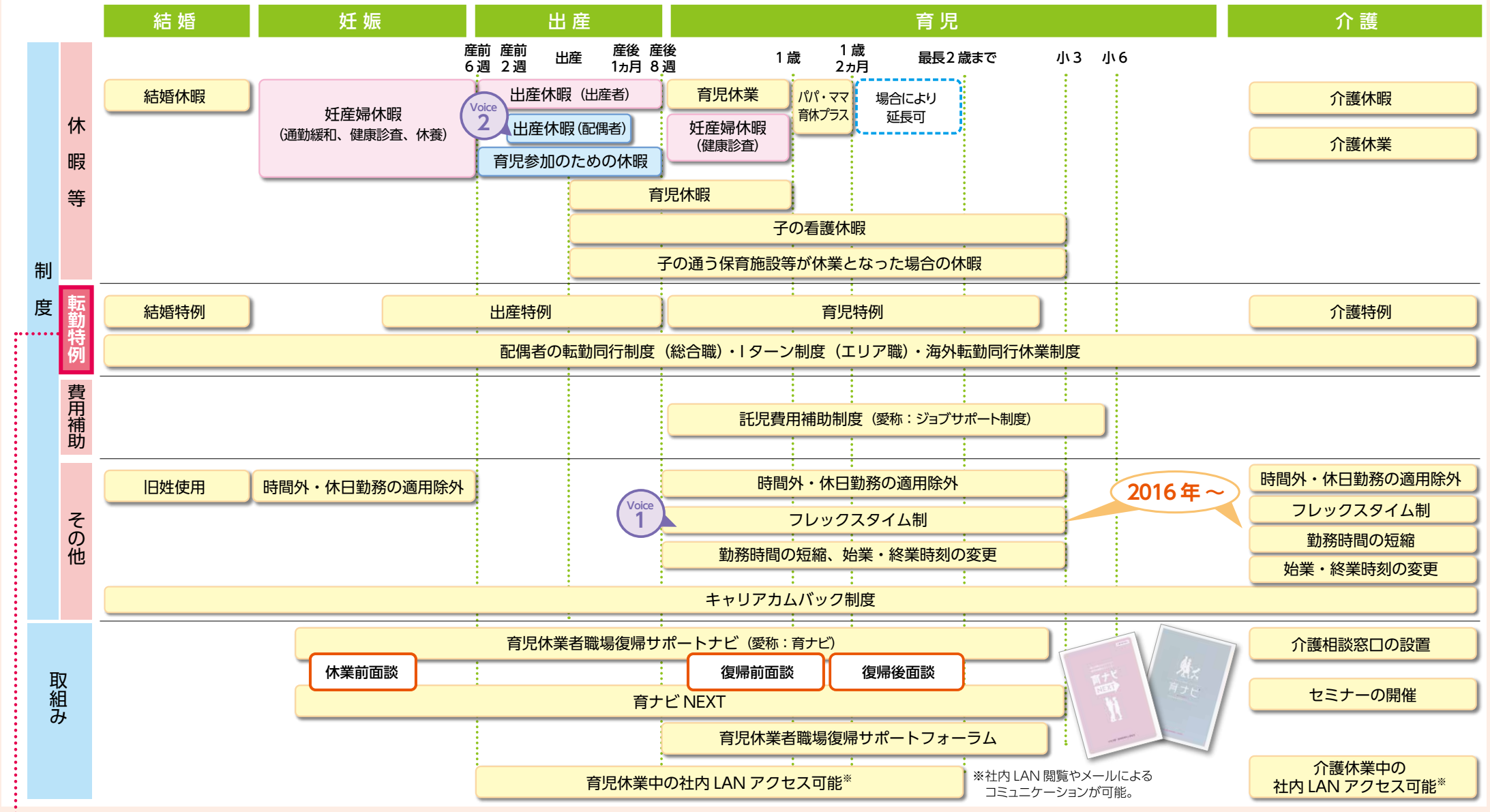
②業務職育成制度

事務職から業務職への職域拡大を目指し、OJTや集合研修等により育成する3年間のプログラム

③メンタリング制度

先輩職員がアドバイザー役となり、若手総合職を個別にサポートする体制を整備

2 ワークライフ・マネジメント支援



1 転勤特例制度

ライフステージに合わせた様々な制度を整備

特例	内容
結婚特例	勤務地を配偶者と同居可能な店舗に限定。転居を伴う異動を2年間免除
出産特例	本人又は配偶者が、6ヵ月以内に出産予定又は産後8週間内の場合、転居を伴う異動を免除
育児特例	小学校就学前までの子供を養育する場合、条件に応じ希望する地から通勤可能な店舗に勤務(ただし、配偶者が就業している場合に限り)
介護特例	要介護3以上の家族 ^(注) がいる場合、介護を必要とする者1人つき5年以内に限り転居を伴う異動を免除 (注) 次の何れかに該当する者 ●職員の配偶者 ●職員の父又は母 ●職員の配偶者の父又は母
配偶者転勤同行制度	配偶者が転勤する場合、同一地域への異動が可能(※本制度は、配偶者が転勤する都度、利用可能)

2 職場環境の向上

▶メリハリのある働き方の推進

- ノー残業デー週2日の実施
- 計画的な休暇取得の促進
- 啓発ポスターの掲示

▶男女ともに働きやすい職場環境づくり

〈男性の育児参画促進〉
男性の育児関連休暇
合計5日以上を取得

2017年度実績
100%
(2017年度までは合計3日)

〈啓発ポスター〉
柔軟に、強く、変化に対応
女性活躍推進法
WLMounts
〈社内報「CLOVER」〉
8月号
CLOVER

男性の育児関連休暇利用者(延べ)(単位:人)

年度	出産休暇	育児参加休暇	育児休業
2012	95	160	7
2013	203	112	2
2014	217	113	4
2015	230	130	3
2016	225	114	2
2017	271	159	5

Voice 1

両立支援制度利用者の「声」

～私の成長をサポートしてくれた上司～
【利用した制度等:フレックスタイム制】

自分の部下4名のうち2名はフレックスタイムを利用しています。2名とも担当した仕事はさっぱりやるのでフレックスタイム利用による業務への影響はありません。お子さんの急病等で急に休みを取得せざるをえないことがあるので、納期管理を徹底しています。課長として部下としっかりコミュニケーションをとることを意識しています。常に仕事の状況について情報共有し、全員の外出予定や勤務予定も一覧にして把握しています。

上司 東京支店 和田雅明課長

部下 東京支店 本田晋太郎さん

愛娘の瑞季ちゃん

上司の勧めで、妻が職場復帰するタイミングでフレックスタイムを利用し始めました。妻も公庫職員のため、2人で使っています。基本的に保育園への送りは自分、お迎えは妻と分担しています。互いの業務状況に応じて柔軟に変更ができるので、とてもありがたいです。子の急な体調不良など突発的なスケジュール変更にも課長や同僚がフォロー・対応してくれているのでいつも感謝しています。毎朝家族と一緒に朝ご飯を食べて、保育園に送っていく時間は本当に幸せです。

Voice 2

両立支援制度利用者の「声」

～育てよう!イクメン★イクボス～
【利用した制度等:男性の育児関連休暇*取得】

※男性の育児関連休暇とは

出産休暇 有給
配偶者の出産の際に3日以内取得可

育児参加休暇 有給
配偶者の出産の際、子の養育のために5日以内取得可

育児休業 無給
子が1歳の誕生日の前日まで取得可

組織として休暇の取得を推奨しているため、スムーズに休暇が取得できました。里帰り出産だった妻の出産立会い、病院へのお迎え、役所手続き等にこの休暇を活用しました。共働きの妻の職場復帰に向け、家事育児を分担しており、掃除、洗い物、子のミルク・風呂は自分の担当です。腱鞘炎になるほど、子どもを抱っこしています。

システムインテグレーションオフィス 神保孝臣さん